

人間以外の動物も
権利が尊重される社会へ

Animal Liberator



動物解放団体リブ

特定非営利活動法人 動物解放団体リブ
2024年度 年次報告書

ミッション

動物解放のプロフェッショナル集団として、

調査・教育・サポート

を日本に適した方法で行い、動物の権利を獲得する

VISION
VALUE
MISSION

ビジョン

『動物解放』

すべての動物が人間による危害を受けない、やさしい世界

バリュー

リブが大切にしている価値観は、

「知識と共感で動物解放を実現する」

私たちは、日本の文化に適した活動を模索し続けます。

問題に対してやみくもに反対するのではなく、目的と戦略を持ち、知識とともに動物への共感を呼び起こします。

相手を責め立てるのではなく、問題を理解するために必要な知識を明確に提示し、相手が自発的に動物たちに共感できるような活動を行います。

Thank
you

2024年は、動物解放団体リブにとって大きな挑戦の年となりました。動物解放のための総合サイトプロジェクトの実施、動物解放アカデミーの運営、学会での発表など、多岐にわたる活動を行いました。

これらの取り組みを通じて、動物解放の理念を広め、多くの人々とつながることができました。

また、資金調達やチーム運営において課題も見つかり、次年度に向けた改善のヒントを得ながら、組織面ではスタッフ募集を行い、チームで活動をする基盤を作り始めることができました。

スタッフもメンバーも募集いたしますので、リブの考えや目的に賛同していただける方は、ぜひ仲間になってください。



リブって
何してるの?? これまでの主な活動



日本一周！動物園水族館調査

団体発足から3年間は動物園水族館問題に注力する方針を取り、活動を開始しました。当時は動物園水族館に関する網羅的な情報が不足しており、広範な調査を行う必要があったからです。

2017～2018年にかけて延べ9ヶ月以上に渡って行った『日本一周！動物園水族館調査』では、**日本のほぼ全ての動物園水族館計283施設を調査しました**。調査結果は、ウェブサイトのレポート記事、YouTubeへの動画投稿、そして電子書籍『動物園水族館閉鎖』に公開しています。



書籍「イルカ・クジラ解放」執筆

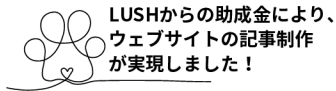
2018年12月からは和歌山県太地町で行われているイルカ追い込み漁の現場調査を開始、イルカ突き棒漁が行われている東北、沖縄も調査を行いました。捕鯨、イルカ漁は日本に特有の動物利用問題でありながら、国内では実態が知られていないという特徴があります。またイルカ追い込み漁は国内外の水族館産業と密接に繋がっています。動物解放活動の観点から、鯨類を軸にこれら産業による搾取利用に関する情報を一元化する必要がありました。捕鯨・イルカ漁・水族館に対する活動を行う活動家、そして未来行うであろう活動家の便利のために執筆した書籍『イルカ・クジラ解放』を執筆、公開しました。

啓発活動や社会へのアクション



これらの活動を軸に、適宜ウェブサイトやSNSを通しての啓発活動、オフライン・オンラインでの講演会や勉強会、行政に対する陳情書の提出等を行い、動物利用問題や動物解放に関する情報をお伝えしてきました。

2024年度活動報告



動物解放のための総合サイト

2024年最大のプロジェクトとして、動物解放の総合サイトプロジェクトを実行しました。

ヴィーガンや動物の問題が特にSNSで知られ始めた今の日本で、さらに情報を得る際にネット検索しても論理的で説得力のある記事を見つけにくいという重大な課題を解決するためのものです。

特に、日本全国の動物園や水族館に関する記事は多くの閲覧者を獲得し、大きな反響を呼びました。

一方で、時間に追われて執筆した一部の記事については、自己満足できるクオリティに達していない部分があり、2025年にはリライトを計画しています。

数値的成果

新規記事: **69本**

閲覧者数: **38万ユーザー**

※閲覧者数の約24万はあるインフルエンサーによる影響が大きいためこの数字は安定的なものではない。

最新記事



2024/11/30

ヴィーガンのための防災備蓄リスト：災害時もヴィーガンでいるために事前準備をしよう！

この記事は、ヴィーガン5年目兼防災オタクである私が、ヴィーガ [...]



2024/11/30

イルカ漁とは：知られざる日本のイルカビジネスの実態と問題

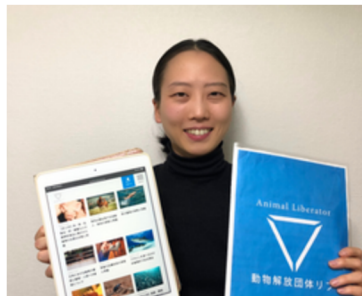
青い海を自由に泳ぐイルカたち。その姿は多くの人に愛されています。 [...]



2024/11/30

ヴィーガンが通る道

この記事では、ヴィーガンになる人が通る道と、その過程で直面する [...]



講演会・セミナー



2024年は

学会での発表 : **2回**

講演会・勉強会 : **7回**

イベント出展 : **3回**

を開催しました。

全体を通して依頼があったものを行う形式が多く、自主開催は数回でしたので、自主開催の回数を増やすとともに、スタッフへの教育を通じて講演できる仲間を増やす予定です。

リーフレット

数値的成果

申し込み合計：**2591枚**
イベント等での配布：**約2000枚**



動物たちの苦しみを多くの人に伝え、動物に優しい生活や社会を広げるため、これらのリーフレットを作成しました。

残虐な写真を使わずにイラストや図を用い、丁寧な口調で説明することで、広く様々な方に渡しやすいものにしています。

リーフレットは、全国の動物擁護活動をする方々が申し込みをし、活用することができます。

動物解放アカデミー

今年で2度目の開催となった動物解放アカデミーでは、昨年と比べて以下の進化がありました。

- ・ 専用テキストの作成
- ・ 学習マップの作成
- ・ オンライン&現地開催
- ・ ワークショップ形式での学びの導入

食事を共に食べる時間を創ったことで、ネットワーキングに大きく貢献。また、スタッフチームの発足により運営がさらに細やかになりました。

参加人数：**63名**
成果 満足度：**非常に満足 51.9%**
満足 **48.1%**
新たな人とのつながりができた参加者の割合：**88.9%**



2024年度会計報告

会計年度：2024年1月1日～2024年12月31日

(単位：円)

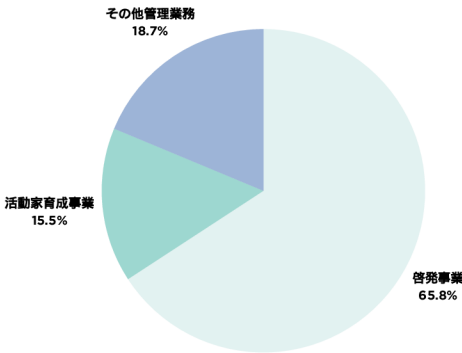
経常収益

科目	金額
受取会費	50,000
寄付金・メンバー費	2,045,950
助成金	1,265,000
特定非営利活動事業収益	167,538
その他(利息・雑収益)	7,236
経常収益 計	3,535,724



経常費用

科目	金額
事業費	
人件費(役員報酬・給料手当・法定福利費)	1,847,527
その他(印刷製本・車両・通信運搬・消耗品 etc)	498,962
管理費	
その他(交通費・車両・通信運搬・保険料 etc)	540,399
事業費 計	2,886,888



当期経常外増減額

科目	金額
税引前当期正味財産増減額	648,836
当期正味財産増減額	64,836
前期繰越正味財産額	1,866,315
次期繰越正味財産額	2,515,151



2024年度会計報告について

今年はクラウドファンディングを実施しなかったため、年間の総寄付額は前年より減少しました。しかし、初めて実施したメンバー（継続寄付）募集キャンペーンにより、継続寄付の割合は増加し、財務の安定性は向上しました。

しかしながら、総収入の減少により、最低限必要なスタッフへの報酬を削減せざるを得ない状況となりました。持続可能な活動のためにも、今後は安定した財源の確保が急務です。

リブは活動基盤を着実に強化しているため、さらに活動の実行力・効果を高めるためには、今後はさらなる活動資金の確保に取り組む必要があります。

支出については、65.8%を総合サイトや講演会を中心とした啓発事業に、15.5%を動物解放アカデミーなどの活動家育成事業に、18.7%を事務局費や外部委託している会計管理の報酬などの管理費に充てました。

リブの活動規模に対して支出は抑えすぎており適切な人件費を支払えていないため、次期繰越金は2,515,151円となっていますので、今年は積極的に活動に投資し、規模を一段階引き上げる必要があると考えています。

2025年の予算計画について

リブの2025年の予算計画では、収入を2024年の約350万円から1.2倍の約430万円に増やすことを目標としています。

その理由は、①新規プロジェクトの開始、②既存活動の拡大のためです。

2024年は約350万円の収入を基に、総合サイトを通じて38万人に動物解放の問題を伝え、学会でヴィーガニズムや動物利用問題について発表し、動物解放アカデミーでは63名の活動家を育成するなどの成果を上げました。

2025年は、新たにヴィーガンプロジェクトを開始し、動物利用問題を伝えるだけでなく、具体的な情報提供やサポートを通じてヴィーガンを実践する人を増やすことを目指します。この目標を実現するため、資金調達の専門担当を募集し、本格的に寄付の拡大に取り組みます。

また、事業報告や会計情報を積極的に開示し、活動説明の機会を増やす予定です。現時点でリブは活動の規模に対して適切な人件費を支払えておらず、課題視しています。

一方、人件費以外の支出については、すでに通信費や印刷費、旅費交通費を最大限削減しており、今後も効率的な運営を続けます。

その上で、2025年は活動の拡大に必要なプロジェクト費用を優先的に確保します。私たちは、皆さまからのご支援を最大限に活かし、動物解放のために尽力していきます。

今後も透明性をもって活動報告を行い、寄付の成果をお知らせしていきます。引き続き皆様のご支援をお願いいたします。

2025年度は、2024年の成果と課題を基に、動物解放団体リーブの活動をさらに深化・拡大させる年とします。チーム体制の強化、新規プロジェクトの開始、収益構造の構築を通じて、動物解放の理念を広め、組織の持続可能性を高めます。

新規事業への着手



収益事業の検討

持続可能な活動を目指し、税務面で問題がないことを確認の上、収益事業を開始します。

グッズ販売や書籍販売、ヴィーガンマルシェの定期開催を通して、プロジェクトに必要な資金を調達し、ヴィーガンに関する情報発信やコミュニティ形成を行う計画を立てています。

特に、ヴィーガンガイドブックの配布を通じて、より多くの人にヴィーガンについて知ってもらい、実践を促します。

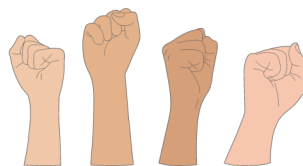


グッズは、Tシャツやキャンドルなど、日常的に使えるおしゃれでエコなものを中心に開発。収益は全てプロジェクト運営へ。

路上アクションの実施

「知識と共感で動物解放を実現する」

というリーブの理念を掲げ、パネル展示やリーフレット配布を通じて動物利用問題に関する啓発活動を行い、新規メンバーを**40名**獲得することを目指します。



ヴィーガンプロジェクトの開始 学校での講演活動



ヴィーガンプロジェクトはヴィーガンの課題を解決することを目的としたプロジェクトです！スタッフを募り、ヴィーガンに必要なサポートをアンケートで見極め、実施します。

また幼稚園から大学まで、それぞれの年齢層に合わせた、適切なレベルの講演活動を学校で行っていく予定です。

組織づくり

目的の共有

団体が何を目指しているのかをチームで共有し、全てのメンバーが同じ方向に向かって活動できるようにします。

チーム運営の効率化

定期的なミーティングや役割分担、進捗管理を通じて、組織全体の効率性を高めます。

人材育成

研修や合宿などを通して、スタッフのスキルアップを図り、組織全体の成長に繋がります。

モチベーション維持

働きやすい環境づくりや、定期的なコミュニケーションを通じて、スタッフのモチベーションを維持します。

組織拡大

新規メンバーの募集活動を行い、組織を拡大し、活動の幅を広げます。

広報・ファンドレイジング

海外助成金
再挑戦!!

ファンドレイジング基礎力の強化

寄付者獲得数や寄付金額といった具体的な数値目標を設定し、毎月の実績を定量的に評価することで、活動の成果を可視化。年間計画と実績を比較する予実管理を徹底することで、より効果的な寄付活動を目指します。

助成金はNPO法人が地域に根ざした小規模な活動から、全国規模の活動へと広げたり、新たなプログラムを開発したりするなど、活動の幅を広げるための貴重な資金源となります。また、助成金獲得は、社会からの評価と信頼の証となり、他の企業や団体からの支援獲得にも繋がります。組織の安定化を図ることができま

プレスリリース



& SNSプロジェクト

イベントの度にプレスリリースを出し、海外カンファレンスや助成金申請の機会を増やす。



また、SNSツールそれぞれの役割を明確にし、フォロワー数や閲覧数の具体的な目標を設定。リールは週1本の投稿を目安に、継続的に発信することで、各SNSの特性を最大限に活かした効果的な運用を目指します。

既存プロジェクトの質の向上と拡大

動物解放のための総合サイト 最新記事&リライト

動物解放に関する総合サイトの最新記事20本を全面的に書き直し、月間5万人、年間60万人の訪問者数を達成することを目標とします。読者には、ヴィーガンになることや、サイト運営団体への加入を促すような内容に記事をリライトし、新規記事も作成していきます。

動物解放アカデミー2025

学習内容のボリューム調整や分割開催、オンライン参加者への満足度向上策の導入、奨学金制度の試験的な導入、参加目標50名の達成、チームリーダー選出とメンバーへの肩書付与、そして振り返りや打ち上げの実施までを視野に入れ、より充実した学習プログラムを目指します。

書籍『動物園水族館閉鎖』のリライト

「日本一周動物園水族館調査」を基にした書籍を、より専門的で客観的な内容にブラッシュアップし、出版を目指します。具体的には、誤字脱字の修正、感情的な表現の抑制、さらに専門性の高いスタッフによるチームでの書き直しを行い、日本唯一の価値ある一冊に仕上げます。



2025年 今後のイベント♪

動物利用問題を学ぶ!ウェビナーシリーズ

このウェビナーは、私たちの身近にある「動物利用問題」や関連情報について毎月テーマ別に分かりやすく学べるシリーズです!

- 4月 動物園・水族館の問題を学ぼう ～異常行動・ブルフック・園内リサイクル～
- 5月 牛乳の問題とは?牛は幸せなの? 牛が置かれている状況や人への悪影響を学ぼう
- 6月 動物利用問題の解決法 ～動物にも優しい社会を作るための道筋～
- 7月 日本におけるヴィーガンの、会社での困難とコミュニケーション リアルな体験談とコツ
- 8月 ヴィーガンの家族とのコミュニケーション 難しさやリアルな体験談とコツ
- 9月 魚を知ろう! 魚の知性、道具の使用、遊ぶのが好き?そして漁業の問題は?
- 10月 蜂を学ぼう! ～学習能力、複雑なコミュニケーション、ハチミツを食べる問題点～
- 11月 卵を食べる人が減っているのはなぜ? 採卵鶏が置かれている現状をまとめて知ろう!
- 12月 クリスマスに食べられるチキンの真実 ～たった6週間の鶏の一生を学ぼう～



碧の部屋

毎回、リブ代表の碧が気になっているゲストをお呼びして対談をしつつ、みんなで美味しいご飯を食べて、交流して、学びも得られる楽しいイベントです。



1月 ゲスト: 北海道大学大学院にてAIと動物倫理を研究されている竹下昌志さん

3月 ゲスト: 9600人もメンバーが集まるTokyo Veganミートアップの主催者ナディア・マケックニーさん

5月以降は決定し次第イベントページやSNSに掲載します。

寄付者限定イベント・活動報告会

リブのメンバーや寄付者に向けて、リアルタイムな活動報告と今後の計画などをお伝えするイベントです!

4月、7月、10月実施予定

活動家向け集中プログラム

動物解放アカデミー

動物解放アカデミーは、動物を守りたい人が、活動に必要な知識やスキルを体系的に学ぶことができ、仲間と繋がることができる、年に一度の集中プログラムです。

2025年は10月開催予定! 詳細は決定し次第イベントページやSNSでお知らせします



※イベントは予定変更になる場合があります。
最新のイベント情報はイベントページをご覧ください。

毎月の寄付で活動を支えるメンバー 募集中！

あと21名
で達成！

現在79人／目標100人！

(2025年2月現在)

メンバーの声



動物解放を社会的に達成するために活動されているリブを継続的に支援することが、まず自分にできることだと考えます。リブを応援していますし、動物解放に向けて一緒に頑張りたいです。 (20代男性)



動物園水族館閉鎖の書籍を読み初めて知りました。心が痛くなかなか読み進められず何度も何度も閉じながら泣きながら読みました。まだまだ知ったばかりで何ができるか迷っていますが、寄付ならすぐできると思いました。 (40代女性)

メンバーの皆様への特典



感謝の気持ちを込めたサンクスメールをお届けします。



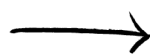
年次報告書や活動報告会で最新の活動成果をお伝えします。



メンバー限定のイベントにご参加いただけます。

一人一人のサポートが
大きな力になります

申し込みはこちらから



動物が利用されない 社会を作るために



私には何が
できるかな？

例えば

リーフレットを配る

イベントや路上活動での配布、よく行くビーガンレストランへ置いてもらうなど 

講演会を主催する

講演会を主催してみませんか？あなたの街や学校へリブスタッフが講演に伺います！

SNSシェアで応援

リブのSNS投稿をシェア拡散！1人でも多くの人に動物問題を知ってもらうことができます。
是非、各SNSのサポートをお願いします。



ボランティアスタッフとして 一緒に活動する

イベントの際は人手が必要です。ボランティア登録いただけたら、都度お声がけさせていただきます。遠隔作業などでも活躍してくれているスタッフもたくさんいます。

寄付で活動を支える

毎月や単発などの寄付を常に募集しています。「忙しくて活動ができない。でも何かできることをしたい！」そんな方は毎月メンバーとして、リブの活動を支えていただけませんか？



その他、

「こんなサポートできますか？」

などのご提案もお待ちしてます！

詳しくはこちら！



リズム チームメンバー 紹介

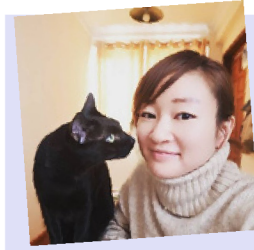
動物たちのために、情熱と専門知識を兼ね備えた
メンバーが力を合わせ活動しています。



目黒 碧
代表理事
統括ディレクター



松田 世爾
ITサポート
システム管理コーディネーター



山崎 明日香
広報デザイナー
動物解放アカデミーリーダー



神里 茜
ウェブコンテンツライター



中条 春野
クリエイティブイベント
コーディネーター



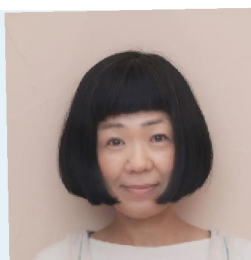
沖田 美菜
広報サポートスタッフ



竹下 昌志
理事
北海道大学
大学院情報科学院D3



小山 真由美
理事
NPO法人Gift 理事長



村田 友美
理事



村林 理那
イベントプロデューサー



佐藤 匡史
経営アドバイザー
バックオフィス総研コンサルティング
合同会社 代表、川口こども食堂代表



木暮 伸仁
学校教育プログラム
コーディネーター



井上 由梨
アカデミー
参加者サポートスタッフ



中村 風太
学校教育プログラム
コーディネーター
広報スタッフ



さゆり
リーフレット管理
発送スタッフ



目黒 峰人
創設者
戦略プランナー



THANK YOU



いつもご支援・応援してくださる皆様へ

いつも動物解放団体リブの活動を応援して下さい、心から感謝申し上げます。

2024年は、リブにとって非常に重要な年になりました。動物解放のための総合サイトの作成、学会での発表、そしてとても嬉しいのが、ボランティアスタッフが増えたことでチームとして活動をスタートできたことです。私自身、約3年間地道に組織の体制を構築し、リブの目指す姿の言語化し、新たな活動を開始してきたことの芽がついに出てきたと感じています。いつも共に走ってくれるメンバーや寄付者の皆様のおかげです。

しかし、動物が置かれている状況は依然として大規模で残酷であり、私たちがやるべきことはまだまだ沢山あります。2025年はさらに影響力を高めるために、ヴィーガン促進を狙った「ヴィーガンプロジェクト」を中心に、様々な取り組みを進めます。

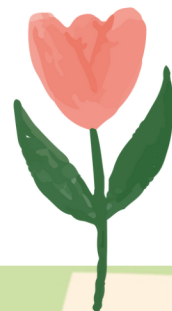
リブはまだ小さな団体ですが、皆様のご支援によって、確実に成長し、動物解放に向けた道を切り拓いています。何度もお伝えしたいですが、私たちはただ手当たり次第に活動するのではなく、問題解決に本当に必要なことを、日本に合わせた方法で行い続けます。リブの理念に賛同する仲間を今年はさらに募りたいです。

長い年月はかかりますが、必ず私たちなら実現できると信じています。私たちは絶対に諦めません。共に動物解放に向けて歩みを進めていきましょう。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

NPO法人動物解放団体リブ
代表・統括ディレクター

目黒碧





知識と共感で動物解放を早める
特定非営利活動法人 動物解放団体リブ

HP	https://animal-liberator.net/
Email	info@animal-liberator.net
X	@Animal_Liberator
FB／IG	NPO法人 動物解放団体リブ / Animal Liberator

表紙写真クレジット : Jo-anne McArthur / We Animals Media

年次報告書について
アンケートのお願い

